

ちょうせんせんそう　かくせんそう　そ　し
朝鮮戦争＝核戦争阻止を

あ　べ　こいけ　かいけん　ろうどうほうせい　かいあくふんさい　しよく　ば　たたか
安倍・小池の改憲＝労働法制改悪粉碎へ　職場からストで闘おう！

きょうだいしゅうかい　さんりづか
10・3 京大集会—10・9 三里塚へ

とうきょう　ぜん　せ　かい　むす　がつこくさいきょうどうこうどう　きゅうせつぱく　ちょうせんせんそう
東京—ソウル—全世界を結ぶ 11 月国際共同行動を、急切迫する 朝鮮戦争
・核戦争を阻止する全労働者人民の渾身（こんしん）の反撃の闘いとして、力
を合わせ大爆発・大成功させよう。11・6 日比谷野音と公園一帯を埋め尽くす
大結集をかちとり、それを 11・12～13 ソウルでの大行動へと発展させよ
う。危機と破産と絶望の資本主義・帝国主義と対決し、未来を開く国境を越え
た労働者の団結と新たなインターナショナルの建設、ゼネスト・世界革命をもつ
て、戦争も搾取も階級もない世界を建設する闘いがここから始まる。この歴史
的大家業への階級的な奔流を、『前進』を武器とし駆使してつくり出そう。

いのち　か
「命に代わるものはない」

がつ　にち　どうろうち　ば　ち　ばうん　ゆく　こうじょうりん　じれっしや　たいしやう　しめい
9 月 13 日をもって動労千葉は、千葉運輸区の工事用臨時列車を対象に指名ス
トに立ち上がった。初日の 13 日には 3 人の組合員がストに入った。代替要員に
指定されていた動労千葉組合員もストに突入したことで、当局は大動揺に陥
っている。気温 40 度を超えるディーゼル機関車の運転席での労働は、組合員の
健康と命をむしばんでいる。CTS（千葉鉄道サービス）の就業規則改悪阻止
の闘いは、安倍の労働法解体攻撃との攻防の最先端だ。「命に代わるものはない」という渾身の怒りと決起だ。

けい　し　ちやうこうあん　ぶ　ゆる　しゅうげき　かえ　ていきたいかい　ぜんがく
警視庁公安部の許しがたいテロ襲撃をはね返して定期大会をかちとった全学

連は、安保戦争法の発動による朝鮮侵略戦争と改憲攻撃に対決し、京都大学での第2波ストに向け、10・3京大処分撤回1万人集会の大成功へ闘っている。京都など全国各地で、労働者人民から「これこそ戦争を止める闘いだ！」という共感の声が寄せられている。

米日韓による朝鮮侵略戦争の最大の出撃基地となる成田空港＝軍事空港建設阻止と市東孝雄さんの農地死守へ、三里塚反対同盟は9・7最高裁包囲デモを闘い、10・9三里塚全国総決起集会へ向け前進している。国際連帯と労農同盟こそが勝利の道である。

戦争と対決し、労働改悪と闘う韓国労働者のゼネスト決起も、日本と同じ闘いだ。民主労総は11・12ソウル20万人決起を訴え、日韓—全世界と結んでパククネ打倒へと突き進んでいる。9月27日にはまず公共運輸労組が労働改悪粉砕を掲げて、「史上最大の無期限スト」(チェサンス委員長)に突入する。梨花女子大学では、学位を金もうけの手段にする教育の民営化攻撃を許さず、7千人が大学占拠と大規模デモで当局の狙いを粉砕している。その警察権力との激突にも負けない闘いは、韓国学生運動の歴史的再興を衝撃的に告知させている。日本軍軍隊慰安婦被害者とともに少女像を守りぬいているのも学生だ。

高高度迎撃ミサイルシステム(THAAD＝サード)の配備に反対する星州(ソングジュ)農民の決起も不屈に闘われている。北朝鮮核実験につけ込み、サード配備反対の闘いを「国民の命を危険にさらす」と非難するパククネ政権に対し、星州の闘いは「私たちは国家のために存在するのではなく、私たちのために国家が存在するのだ」と宣言して継続されている。

始まる前に戦争とめよう

ろうどうしゃ しょくば がくせい だいがく のうみん のうち ぶき とりで
 労働者は 職場を、学生は大学を、農民は農地を武器とし砦（とりで）として
 だんけつ う かた せ かいじゅう ふくつ たたか ばくはつ どうろう ち ば みんなしゅろうそう
 団結を打ち固め、世界中で不屈の闘いが爆発し、動労千葉や民主労総のストを
 せんとう たたか ぜんしん
 先頭にすべての闘いが前進している。

しゃかい う だ うご ろうどうしゃ しほん せいさんしゅだん
 社会のすべてを産み出し、動かしているのは労働者だ。資本はただ生産手段を
 してき しょゆう どくせん ろうどうしゃ しはい さくしゅ いま かじょう
 私的に所有し独占することで、労働者を支配し搾取している。しかし今や過剰
 しほん かじょうせいさんりよく ていこくしゅぎ こゆう こんぼん むじゅん つ あ せかいだいきょう
 資本・過剰生産力という帝国主義に固有の根本矛盾に突き当たり、世界大恐
 こう ばくはつ ろうどうりよく さいせいさん ふかのう きょくげんてき ろうどうしゃ しぼ
 慌を爆発させ、ついに労働力の再生産も不可能なほど極限的に労働者から搾り
 と いがい しほん えんめい しゅだん
 取る以外に、資本には延命の手段がなくなっている。

いま ぜん せ かい きょうこう ろうどうほうかいたいこうげき ほんしつ ろうどうしゃ
 それが今、全世界で強行されている労働法解体攻撃の本質だ。だから労働者
 じ こ せいぞん ろうどう ほこ きょうどうせい ろうどう けつ か じつりよく うば
 は自己の生存をかけて、労働の誇りや共同性と労働の結果そのものを実力で奪
 かえ たたか かくめい た あ いま につかん ぜん せ かい
 い返す闘い、すなわち革命に立ち上がっているのだ。これが今、日韓一全世界
 お
 で起きていることなのである。

ろうどうしゃ たたか こっきょう ひと あべ
 労働者の闘いに国境はない。これが一つになれば、安倍もパククネも、オバ
 しゅうきんぺい ひととき せんざい むげん かのうせい いま につかん
 マも 習近平も、一時も存在することはできない。その無限の可能性が今、日韓
 ぜん せ かい ろうどうしゃ がつこくさいきょうどうこうどう れきしてき じぎょう かいし ひろ
 一全世界の労働者の 11 月国際共同行動という歴史的事業として開始され、広
 ぜん せ かい かくめい たいどう しゃかい しゅじんこう ろうどうしゃ
 がっている。全世界でプロレタリア革命が胎動している。社会の主人公＝労働者
 じだい しょくば くみあい ちいきまる けつき こうどう よ
 の時代がやってきた。職場、組合、地域丸ごとの決起と行動を呼びかけよう。

がつかこの か きょうこう きたちょうせん しゅぎ はんじんみんてき かくじっけん
 9 月 9 日に強行された北朝鮮スターリン主義の反人民的な核実験は、それ
 ぎやく べいにちかん ちょうせんせんそう かくせんそうしゅうどう かそく せんそう
 を逆にえじきとした米日韓の朝鮮戦争・核戦争衝動を加速している。「戦争
 はじ まえ せんそう と につかんろうどうしゃ せつぱく かだい
 が始まる前に戦争を止めよう」は日韓労働者の切迫した課題だ。

きたちょうせん かくじっけん う かんこくぐん きたちょうせんさいこうかん ぶ しきしょ ちよくせつこうげき あら
 北朝鮮の核実験を受け、韓国軍は北朝鮮最高幹部の指揮所を直接攻撃する新
 だいき ぼせいさい ほうふく さくせん こうひょう にち べいぐん はいび
 たな「大規模制裁・報復」作戦を公表した。13 日には米軍が、グアムに配備し

ている B 1 戦略爆撃機 (B 52 の後継機。より高速で低空飛行も可能) を派遣し、
 韓国軍 F 15 戦闘機や米軍 F 16 戦闘機とともにソウル南方の米空軍烏山 (オサン)
 基地上空などを低空飛行させた。またこれに先立ち、B 1 は九州沖で空自 F
 2 戦闘機 2 機と編隊飛行し、迎撃訓練を展開した。自衛隊幹部は「北朝鮮に対
 する最上級の威圧行動」「強いインパクトがある」などとうそびている。

これは朝鮮戦争に自衛隊が現実に参加していくということだ。さらに米軍は
 朝鮮労働党創建記念日の 10 月 10 日に、済州島沖に原子力空母ロナルド・レー
 ガンを派遣し米韓合同演習を強行する。

都労連解体を打ち破ろう

1950～53 年の朝鮮戦争では朝鮮半島全域が戦場になり、全人口の 2 割
 の 400 万人もの命が失われ、全人口の半数が南北離散家族となった。これは
 けっして消せない冷厳な歴史の事実だ。日韓共同アピールには、この戦争への激
 しい危機感と、それを阻止する固い決意が刻まれている。これに応えて 11 月国
 際共同行動へ闘いぬこう。

レーニン は戦争に対する社会主義者の態度について、「戦争と国の内部の階
 級闘争との不可避的なつながりを理解し……階級を絶滅し社会主義を建設しな
 ければ戦争をなくし得ないことを理解していること」(『社会主義と戦争』) と述
 べている。そして戦争に対して、「平和」ではなく、戦争と労働者人民への搾取
 や収奪をなくす革命を真っ向から対置して闘うことを訴えた。

各国の支配階級はプロレタリア革命への危機感を募らせ、戦争に訴えてでも
 革命を圧殺しようとする。戦争は支配階級の深刻な危機であり、それに対し必要

なのは労働者の国際的団結とゼネスト・革命だ。そしてそれを成し遂げる組織＝
 新たなインターナショナルだ。今年の 11 月はそこへの転換点である。

労働法制大改悪は、国鉄分割・民営化型の選別再雇用を全社会化し、労働者を
 総非正規化する攻撃だ。安倍・小池による「働き方改革」はそれであり、都営交通
 の民営化はその最先端の攻防となってきた。「4・9 政治和解」の大反動を打
 ち破り、6・30 最高裁決定をかちとった動労千葉の国鉄決戦の地平に立って、労
 働法制大改悪を阻止し、ゼネストを闘う労働組合の建設へ進もう。

築地市場の豊洲移転には、すさまじい汚染と利権、そして都労連労働運動の
 解体という、腐敗と新自由主義攻撃のすべてが凝縮している。都下の労働者に
 11 月大結集を全力で訴えよう。安倍・小池との闘いから労働運動が再生され、
 ゼネスト・革命が生まれる。

11 月国際共同行動の招請状を最大の武器にして、集会賛同とカンパ、チケ
 ット購入を職場・地域・学園のすべての仲間に訴えよう。

朝鮮戦争・核戦争に反対して根底からの決起を呼びかける唯一の新聞が『前
 進』だ。労働者の新聞だからこそ、戦争絶対反対で闘える。『前進』を駆使し
 て壮大な 11 月総決起をつくり出そう。